



学校教育目標

☆ともに学ぶ生徒

☆こころ豊かな生徒

☆ともに鍛える生徒

熊谷の子どもたちは、これができます！

「生きる力」= 学力・体力・やる気

- ① 朝ごはんをしっかり食べる。
- ② 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする
- ③ 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う
- ④ 友だちをたくさんつくる。

「3減運動」

- ・テレビの時間
- ・ゲームの時間
- ・携帯電話やパソコンの時間



増やします！

- 家族との会話
- 予習・復習の時間
- 読書の時間

大人が手本となって

新しい学習指導について

先日の体育祭では、生徒のたくましい成長を見ることができました。去年は、開催を見送りましたので、無事開催できたことは本当に喜ばしいことです。体育祭という大きな目標を達成できましたので、次は落ち着いて学習にじっくりと取り組んでいきましょう。

さて、中学校の学習の基本となるものに学習指導要領があります。学習指導要領とは、学校での教育課程を編成する際の基準であり、文部科学省が定めるものです。今年の4月から新しい学習指導要領が実施になりましたので、簡単に改訂のポイントを紹介します。

指導を通して育成を目指す資質・能力とは(身につけてほしいこと)

- (1) **知識及び技能の習得**→基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得するとともに、既に持っている知識と関連付けたり、組み合わせたりして深く理解し、生きていく中の様々な場面で知識や技能を生かすことができる。
- (2) **思考力、判断力、表現力等の育成**→課題に対し何が問題なのか明確にし、解決策を考え、自分の考えをまとめ、表現できる。
- (3) **学びに向かう力、人間性等の涵養**→知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりするために、自分の学習状況を把握して、学習の進め方について工夫しながら学ぼうとする。また、学んだことを人生や社会に生かしていこうとする。

指導方法の改善とは(指導のポイント)

「主体的・対話的で深い学び」を重要視しながら指導します。

- (1) **主体的な学びの視点**→学ぶことの興味や関心を持ち、自分の進路などの方向性と関連づけながら、自分の学習活動を振り返って次につなげるような学びになっているか。
- (2) **対話的な学びの視点**→生徒同士が目標を共有し、力を合わせて活動したり、教職員や地域の人との対話や先人の優れた考えを手掛かりに考え、自分の考えを広げ深めているか。
- (3) **深い学びの視点**→様々な教科等で学んだ見方、考え方を相互に関連付け、より深く理解しているか。自分なりに課題を見出し、解決策を導き出しているか。



